



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月28日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 鈴木 英男 (TEL) 052-963-7501
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	131,239	47.8	10,505	—	11,824	—	7,628	—
2021年3月期第1四半期	88,789	△30.5	△2,431	—	△1,667	—	△1,553	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 10,641百万円(334.8%) 2021年3月期第1四半期 2,447百万円(△65.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	178.95	—
2021年3月期第1四半期	△36.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	670,932	348,191	46.4
2021年3月期	665,506	339,353	45.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 311,163百万円 2021年3月期 303,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	75.00	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	255,000	42.1	18,000	—	18,500	—	11,500	—	269.78
通期	500,000	21.1	35,000	247.6	36,000	184.8	23,500	420.3	551.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	43,448,769株	2021年3月期	43,448,769株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	821,586株	2021年3月期	821,449株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	42,627,247株	2021年3月期1Q	42,628,254株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足説明資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や鉱工業生産の持ち直しにより回復基調となっているものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により、不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、特殊鋼の需要は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した前年から大きく回復しました。主要需要先である自動車関連の受注は、足元で半導体不足による生産調整はあるものの、グローバルでの堅調な自動車需要を背景に、コロナ禍以前の水準まで回復しております。同様に産業機械の受注は、国内外の経済回復に伴う需要増に加え、在庫補填の動きも伴ったことで高い水準となりました。また半導体関連は、5Gやデータセンター、車載向けなど幅広い需要が堅調に拡大し、受注の増加が顕著となりました。この結果、鋼材売上数量は前年同期比で増加しました。一方、主要原材料である鉄屑価格は、国内需給のタイト化および国際価格の上昇により、前年同期比で高騰しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は前年同期比424億49百万円増収の1,312億39百万円、経常利益は前年同期比134億92百万円増益の118億24百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比91億82百万円増益の76億28百万円となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。また、一部の連結子会社14社について、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更、または四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)」をご参照ください。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連や産業機械向けの受注増加を受け、前年同期比で数量が増加しました。工具鋼も、自動車関連需要の立ち上がりにより、前年同期比で数量が増加しました。主要原材料である鉄屑価格は、国内需給のタイト化および国際価格の上昇により、前年同期比で高騰しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の増加および原材料価格の上昇により前年同期比61.6%増加の465億58百万円、営業利益は、前年同期比28億89百万円増益の10億13百万円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレス鋼および高合金は、自動車関連や産業機械向けの受注増加に加え、半導体関連の受注が大幅に拡大し、前年同期比で数量が増加しました。磁石製品は、自動車関連および半導体関連の需要拡大により、粉末製品は、自動車関連需要の増加により、売上高は前年同期比で増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、売上数量の増加により前年同期比45.7%増加の478億72百万円、営業利益は前年同期比59億13百万円増益の71億41百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

エンジンバルブ部品・型鍛造品は、自動車生産の増加を受け、精密鍛造品は、自動車生産の増加に伴うターボ関連製品の需要が増加し、それぞれ売上高は前年同期比で増加しました。自由鍛造品は、半導体関連や重電需要が好調に推移しましたが、航空機需要等が減少し、売上高は前年同期比で減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、売上数量の増加により前年同期比42.1%増加の249億円、営業利益は前年同期比43億84百万円増益の19億53百万円となりました。

④エンジニアリング

メンテナンス事業は緩やかな回復基調にあるものの、自動車部品向け熱処理炉の受注減少により、当第1四半期連結累計期間におけるエンジニアリングの売上高は、前年同期比7.5%減少の37億24百万円、営業損益は前年同期比5億42百万円減益の3億86百万円の損失となりました。

⑤流通・サービス

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比46.9%増加の81億82百万円、営業利益は前年同期比2億96百万円増益の7億78百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ54億25百万円増加し6,709億32百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、「棚卸資産」の増加139億25百万円、減少の主な内訳は、「現金及び預金」の減少65億44百万円であります。

総資産の増減の主な内訳と要因は、下記のとおりであります。

- ・「棚卸資産」は、旺盛な需要への生産対応および原材料市況の高騰等により増加しております。
- ・「現金及び預金」は、前期末では新型コロナウイルス感染症に伴う事業や金融環境の変化に対応するため増加しておりましたが、事業の安定および金融情勢の正常化に伴い平常水準に戻すこととしたため、当第1四半期連結会計期間末では減少しております。

また、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べ88億37百万円増加し3,481億91百万円となりました。純資産の増加の主な内訳と要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益76億28百万円の計上等による「利益剰余金」の増加62億28百万円であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は46.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン普及により、徐々に正常化に向かうことが期待されますが、変異種の流行による感染の再拡大など、先行きについては依然として不透明な状況にあります。当社の主要需要先である自動車関連の受注は、自動車メーカーの車両生産挽回に伴い強含みで推移することが見込まれますが、半導体不足による自動車メーカーの減産リスクには注視していく必要があります。また、産業機械や半導体関連の受注は更に増加することが見込まれますが、鉄スクラップ価格の高止まりにより、受注増加のプラス面が相殺される見込みであります。

当期の連結業績につきましては、前回（2021年4月30日）公表した業績予想から大きな離れはないため、修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,314	60,770
受取手形及び売掛金	110,444	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	109,466
電子記録債権	15,473	17,521
棚卸資産	118,532	132,458
その他	7,696	6,362
貸倒引当金	△97	△78
流動資産合計	319,364	326,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	81,881	81,654
機械装置及び運搬具（純額）	99,170	100,164
その他（純額）	50,794	47,898
有形固定資産合計	231,846	229,717
無形固定資産		
投資その他の資産	2,721	2,827
投資有価証券	93,947	94,727
退職給付に係る資産	12,182	11,975
その他	5,527	5,260
貸倒引当金	△83	△77
投資その他の資産合計	111,574	111,886
固定資産合計	346,142	344,431
資産合計	665,506	670,932

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,292	45,890
電子記録債務	22,297	18,507
短期借入金	70,141	68,492
コマーシャル・ペーパー	10,000	5,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,957	1,566
賞与引当金	6,566	2,885
その他の引当金	1,531	569
その他	15,659	21,809
流動負債合計	181,445	174,720
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	82,223	84,630
その他の引当金	4,517	4,466
退職給付に係る負債	12,620	12,504
その他	20,344	21,418
固定負債合計	144,706	148,020
負債合計	326,152	322,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	30,427	30,427
利益剰余金	216,357	222,585
自己株式	△3,660	△3,661
株主資本合計	280,297	286,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,627	26,018
繰延ヘッジ損益	△26	△32
土地再評価差額金	657	657
為替換算調整勘定	290	1,670
退職給付に係る調整累計額	△3,702	△3,675
その他の包括利益累計額合計	22,846	24,638
非支配株主持分	36,210	37,028
純資産合計	339,353	348,191
負債純資産合計	665,506	670,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	88,789	131,239
売上原価	78,803	106,774
売上総利益	9,985	24,464
販売費及び一般管理費	12,417	13,958
営業利益又は営業損失(△)	△2,431	10,505
営業外収益		
受取利息	31	50
受取配当金	735	978
持分法による投資利益	97	201
為替差益	—	172
雇用調整助成金	1,354	92
その他	486	469
営業外収益合計	2,705	1,964
営業外費用		
支払利息	208	207
環境対策費	21	209
環境対策引当金繰入額	1,340	12
固定資産除却損	81	104
為替差損	93	—
その他	195	112
営業外費用合計	1,940	645
経常利益又は経常損失(△)	△1,667	11,824
特別利益		
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	9	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,657	11,824
法人税、住民税及び事業税	447	2,067
法人税等調整額	△559	1,151
法人税等合計	△112	3,218
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,545	8,605
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	977
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,553	7,628

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,545	8,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,843	389
繰延ヘッジ損益	△17	△6
為替換算調整勘定	△1,006	1,598
退職給付に係る調整額	243	34
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	19
その他の包括利益合計	3,992	2,036
四半期包括利益	2,447	10,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,615	9,420
非支配株主に係る四半期包括利益	△167	1,221

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用により、従来は、総額で収益を認識していた一部の商品販売について、顧客への財又はサービスの提供における役割(本人又は代理人)を判断した結果、純額で収益を認識する方法にする等の変更を行っております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,143百万円減少し、売上原価は5,819百万円減少し、販売費及び一般管理費は365百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益、および利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち、大同電工(蘇州)有限公司、大同特殊鋼(上海)有限公司、Daido Kogyo (Thailand) Co., Ltd.、OHIO STAR FORGE CO.他10社について、当該連結子会社の事業年度に係る財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行ってまいりましたが、連結決算の開示内容の充実のため、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更、または四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更したことに伴い、当第1四半期連結累計期間は、主として2021年1月1日から2021年6月30日までの6か月間を連結しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,521百万円増加し、営業利益は897百万円増加し、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ996百万円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品・ 産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	28,807	32,860	17,525	4,027	5,569	88,789	—	88,789
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	10,927	2,977	4,770	96	3,159	21,931	△21,931	—
計	39,735	35,837	22,295	4,124	8,729	110,720	△21,931	88,789
セグメント利益 又は損失(△)	△1,875	1,227	△2,431	156	481	△2,441	9	△2,431

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品・ 産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	46,558	47,872	24,900	3,724	8,182	131,239	—	131,239
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,680	3,761	6,744	132	3,268	30,587	△30,587	—
計	63,238	51,634	31,645	3,857	11,451	161,827	△30,587	131,239
セグメント利益 又は損失(△)	1,013	7,141	1,953	△386	778	10,500	5	10,505

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 収益認識に関する会計基準等の適用

(会計方針の変更)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更しております。

この結果、従来の方法に比べて、主として、当第1四半期連結累計期間の「特殊鋼鋼材」における売上高は3,525百万円減少し、「機能材料・磁性材料」における売上高は1,154百万円減少し、「自動車部品・産業機械部品」における売上高は1,472百万円減少しております。なお、セグメント利益又は損失へ与える影響は軽微であります。

(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

(追加情報)に記載のとおり、一部の連結子会社14社について、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更、または四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更したことに伴い、当第1四半期連結累計期間は、主として2021年1月1日から2021年6月30日までの6か月間を連結しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の「特殊鋼鋼材」における売上高は1,504百万円増加、セグメント利益は105百万円増加し、「機能材料・磁性材料」における売上高は2,526百万円増加、セグメント利益は158百万円増加し、「自動車部品・産業機械部品」における売上高は3,850百万円増加、セグメント利益は454百万円増加し、「流通・サービス」における売上高は4,640百万円増加、セグメント利益は179百万円増加しております。

3. 補足説明資料

(1) 当第1四半期のセグメント別売上高・営業利益

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益			2021年6月 第1四半期	前年同期差 増減額 (増減率)
	2021年6月 第1四半期	前年同期差 増減額 (増減率)	2021年6月 第1四半期	前年同期差 増減額			
特殊鋼鋼材	46,558	17,751 (61.6%)	1,013	2,889	売上高	131,239	42,449 (47.8%)
機能材料・磁性材料	47,872	15,012 (45.7%)	7,141	5,913	営業利益	10,505	12,937 (-%)
自動車・産業機械部品	24,900	7,375 (42.1%)	1,953	4,384	営業外損益	1,319	554
エンジニアリング	3,724	-303 (-7.5%)	△386	-542	経常利益	11,824	13,492 (-%)
流通・サービス	8,182	2,613 (46.9%)	778	296	特別損益	-	-9
調整	-	-	5	-3	税引前純利益	11,824	13,482
計	131,239	42,449 (47.8%)	10,505	12,937	法人税等 非支配株主に帰属する 当期純利益	3,218	3,331
					親会社株主に帰属する 当期純利益	977	969
						7,628	9,182 (-%)

(鋼材売上数量(単体) 322千t、前年同期差 148千t増)

(3) 当第1四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料・為替市況)

増益要因	金額	減益要因	金額		2020年6月 第1四半期	2021年6月 第1四半期
1. 販売数量増加	139	1. 原燃料等市況	74	H2建値 (千円/t)	16.1	43.1
2. 内容構成差他	29	2. 固定費の増加	17	ニッケル(LME) (\$/1b)	5.5	7.9
3. 販売価格は正	23			為替レート(TTM) (円/\$)	108.6	110.5
4. 変動費改善	20					
5. 決算期変更	9					
6. 営業外損益	6					
計(a)	226	計(b)	91			
		差引(a)-(b)	135			

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2021年 3月末	当第1四半期 2021年 6月末	増減	科目	前期 2021年 3月末	当第1四半期 2021年 6月末	増減
流動資産	319,364	326,501	7,136	負債	326,152	322,741	-3,411
現預金	67,314	60,770	-6,544	営業債務	65,589	64,397	-1,191
営業債権	125,918	126,987	1,069	有利子負債	198,812	194,558	-4,254
棚卸資産	118,532	132,458	13,925	その他	61,750	63,785	2,034
その他	7,599	6,284	-1,314				
固定資産	346,142	344,431	-1,710	純資産	339,353	348,191	8,837
有形固定資産	231,846	229,717	-2,129	株主資本	280,297	286,524	6,227
無形固定資産	2,721	2,827	106	その他の包括利益 累計額	22,846	24,638	1,792
投資その他の資産	111,574	111,886	311	非支配株主持分	36,210	37,028	817
資産合計	665,506	670,932	5,425	負債純資産合計	665,506	670,932	5,425